

No.4 : ドイツの観光地



【概要】

この地域は 10 世紀以降、ローマ帝国、神聖ローマ帝国 (1806 年解体) と続き、その後「プロイセン・バイエルン・ザクセン・ヴュルテンベルク」などの君主国が生まれた。1871 年にこれらを統合したドイツ帝国が成立したが、その後、東西分割などの曲折を経て 1990 年に再統一された。

各地に残る伝統・風習や自然や歴史の多様性が、人気観光地の背景にある。また、多くの国に隣接していることから、周辺国を含めたツアーも多い。

試験対策としては、観光街道 (特にロマンチック街道) と東西南北の観光都市の特徴を押さえておきたい。

【観光街道】

・ロマンチック街道

北の起点であるメイン河畔にある古都ビュルツブルグから、南のオーストリア国境に近い山麓の町フュッセンまで、中世のたたずまいが残る街をめぐる約 350 km に及ぶルート。以下、主な観光スポット。

・ローテンブルク

城壁に囲まれた中世の面影が残る街で、マルクト広場に面した市議宴会館の壁にはマイスタートゥルンクの逸話をテーマにした仕掛け時計がある古都で知られている。「中世の宝箱」という愛称がある。

・ノイシュヴァンシュタイン城 (新白鳥城)

フュッセン近郊のアルプ湖を見下ろす高台にあり、1869 年バイエルン国王ルートヴィヒ 2 世がワーグナーのオペラに影響されて建造を始めた城 (実は未完成)。ロマンチック街道観光のハイライト。

・アウクスブルク

古代ローマ都市のひとつで、紀元前 15 年にローマ皇帝によって築かれた古い街。見どころはルネサンス様式の町並み、世界最古の社会福祉住宅であるフッガーライ、人形劇場、市庁舎など。

・古城街道

ドイツ南西部のマンハイムからハイデルベルク、ローテンブルクを通りチェコのプラハまで 1190km に及ぶ結ぶルート。中世から近世にかけて建造された約 90 の城が点在する。

・メルヘン街道

ドイツ中部のハーナウから北部のブレーメン近郊まで、約 600 km のルート。童話で知られるグリム兄弟ゆかりの地や、収集した民話・伝承の舞台となった場所が点在している。

・ゲーテ街道

ドイツの文豪ゲーテの足跡をたどる観光街道で、ドイツ中西部のフランクフルトからヴァイマル (ワイマール) を経て東部のライプツィヒまでを結ぶ約 400km のルート。生誕・終焉の地や学生時代を過ごした地がふくまれている。

・ヴァイマル (ワイマール)

中部のチューリンゲン州の都市。18 世紀末から 19 世紀初頭にゲーテやシラーなどの文人や音楽家が集まり、ドイツ古典主義文化が花開いた。ゲーテの家、シラーの家、リストの家などが残されている。

【ドイツ南部 (バイエルン地方)】

・ミュンヘン

バイエルン州の州都で、ドイツ南部の代表的な都市。バイエルン地方の文化が色濃く残り、マリエン広場、新市庁舎、フラウエン教会などの歴史的建造物が見どころ。ノイシュヴァンシュタイン城の日帰りツアーの起点でもある。

・オクトーバーフェスト

ミュンヘンで毎年秋に開催されるビール祭り。1810 年に王家の結婚式に合わせて開かれたのが始まりで、祭りのために特別に醸造されたビールがふるまわれる。

[ドイツ東部（旧東ドイツ）の都市]

・ポツダム

首都ベルリンの南西に隣接する都市で、第二次世界大戦を終結に導いたポツダム宣言が発せられた都市。かつてはプロイセン王の城下町であった。

・サンサーシ宮殿

ポツダムにあるロココ様式の宮殿。プロイセン王国のフリードリヒ2世が1745～47年に造営した。「ポツダムとベルリンの宮殿群と公園群」として世界遺産に登録されている。

・ドレスデン

かつてザクセン王国の首都としてエルベ川沿いに繁栄した街。美しい町並みが第二次世界大戦により破壊されたが、瓦礫の山から歴史的建造物が修復、再建されている。

・ツヴィンガー宮殿

ドレスデンにあるバロック様式の宮殿で1728年に建造された。第2次世界大戦中に空爆により被害を受けたが、戦後修復され、元の姿に戻っている。

・マイセン

ドレスデン近郊の小さな町で、ヨーロッパ磁器発祥の地として知られる。マイセン焼は日本の伊万里・有田焼の影響を受けたといわれる。

[ドイツを流れる川・川沿いの都市]

・ドナウ川

シュヴァルツヴァルト（黒い森）から、ドイツ南部を西から東へ流れ、オーストリア（ウィーン）、ハンガリー（ブダペスト）などを経て、ルーマニアで黒海へと注ぐ大河。

・シュヴァルツヴァルト

南西部の森や山地で、樹木が密生し黒く鬱蒼としていることからこのように呼ばれる。ドナウ川やネッカー川の水源がある。

・バーデンバーデン

シュヴァルツヴァルトの北部に位置し、古代ローマ時代から温泉保養地として繁栄してきた。最近ではヨーロッパでも屈指の祝祭劇場で催される多彩な音楽プログラムにより、芸術・文化都市としての評価も高まっている。

・ライン川

西部の主要都市（マンハイム、ケルン、デュッセルドルフなど）を流れ、北海へ至る重要な国際河川。

・ケルン大聖堂

ライン河畔に建つゴシック建築の傑作で、内部には美しいステンドグラスや東方三博士の聖遺物を収めた黄金の棺などがある。

・ネッカー川 - ライン川の支流 -

シュヴァルツヴァルトから発し、シュトゥットガルトやハイデルベルクなどを結ぶ重要な支流で、マンハイムでライン川に合流する全長約362kmの河川。

・ハイデルベルク

ネッカー河畔に開け、中世の面影が残るドイツ最古の大学のある古都。ハイデルベルク城と旧市街が見どころ。

・メイン川 - ライン川の支流 -

バイエルン地方から東から西に流れ、フランケン地方を通り、マインツでライン川に合流する。

・フランクフルト

メイン川の下流にある、ドイツを代表する詩人で作家であったゲーテの聖地として知られる。街のシンボルである旧市庁舎レーマーは、旧市街の中心にある。

正式名称はフランクフルト・アム・マイン（Frankfurt am Main- マイン川のフランクフルト）という。

・エルベ川

チェコ北部の山地を水源とし、ドイツを北西へ流れて北海に注ぐ、全長約1,090kmの中央ヨーロッパの大河。プラハ（チェコ）・ドレスデン（既出）・ハンブルク（後出）などを結ぶ。

[その他の項目]

■ 首都：ベルリン ■ 通貨：ユーロ（€） ■ EU：加盟 ■ シェンゲン協定：加盟

未出題の定番観光地

- * ベルリン
ヨーロッパを代表する都市の一つで、1871年のドイツ帝国建国以来の首都。第2次世界大戦後も東ドイツ首都であり、1961年に市内を東西に隔てる壁が建設された。
- * ブランデンブルク門
18世紀後半にプロイセン王国の凱旋門として建造されたベルリンのシンボル。東西ベルリンの分断・統合の象徴とされている。
- * 博物館島
ベルリン中心部に位置する5つの主要な博物館が集まる地域で、世界遺産に登録されている。中でもベルガモン博物館は、古代メソポタミア、ギリシャ、ペルシアの貴重な遺物が展示されている。
- * ハンブルク
エルベ川の河口に位置する港町で、ベルリンに次ぐドイツ第2の都市。運河や水路が張り巡らされていて、北のヴェネツィアと呼ばれる。倉庫街が世界遺産に登録されている。
- * クリスマスマーケット
11月下旬～12月24日前後に、ニュルンベルク、ドレスデン、ミュンヘン、ベルリン、フランクフルトなどで開催されている、冬の風物詩。屋台ではグリューワイン、ソーセージ、シュトレンなどを楽しむことができる。

スペースが勿体ないので、白地図を作りました。ご活用ください。

① 中部から南部に続く観光街道 ()

② 街道観光のハイライトである名城 ()

③ 街道途中にある「中世の宝石箱」と呼ばれる街 ()

④ エルベ河畔にあるザクセンの古都 ()

⑤ ライン河畔にあるゴシック建築の大聖堂 ()

⑥ ドイツ最古の大学や城で知られる古都 ()

⑦ エルベ川の河口にある港町 ()